

モミガライト

とは？



今まで難しいとされていたもみ殻の再利用ですが、すり潰し・圧縮成形をすることで固形化し、もみ殻100%のエコな燃料として生まれ返らせることに成功しました。

「モミガライト」最大の特徴は「クリーン」であること。固形化するための接着剤などは一切使用していません。

また、大気中の二酸化炭素が増えず、廃棄物として処理されるもみ殻を再利用するため、薪のように新たな森林伐採を引き起こすことのない「バイオマス燃料」であり、石油代替エネルギーの「地球にとっても優しい燃料」としても注目されています。

➡環境問題に配慮したカーボンニュートラル！

モミガライトの特徴

1.薪の代用品として

モミガライトと薪1Kgの比較表

	熱量	密度	燃焼時間	コスト
モミガライト	4,000kcal	1.20g/cm ³	90分	50~70円
薪	3,380kcal	0.67g/cm ³	30分	80~100円

2.室内で10年の保存が可能

モミガライトは湿気に強く、雨に当たらない室内であれば10年の保存が可能です。高温殺菌をした状態で製造されるため、虫や菌の繁殖などの心配もありません。また、もみ殻を約10分の1に圧縮しているため、保存スペースも、もみ殻に比べると少ない面積で貯蔵することができます。

3.燃焼後は土に還元

燃焼を終えたモミガライトは、そのままの形で灰化されます。植物の細胞強化の働きをするケイ酸を多く含んでいるため、土壌改良材として畑やガーデニングの土に撒いて還元することができます。

災害時の燃料として

近年、猛威を振るう自然災害。いつ襲いかかるか分からないので、備えが必要です。食料や飲料水などの準備をする方は多いですが、夏場以外は夜は気温も低く暖を取る場面も出てきます。

灯油ストーブやカセットガスコンロを用意していたとしても、燃料である灯油やカセットボンベの備蓄が必要となります。灯油やカセットボンベを備蓄するには取り扱いや保存方法に注意が必要です。

その点、モミガライトは水に濡れない室内環境であれば10年は保存が可能な固形燃料です。災害時の燃料としても活躍します。また各自治体の災害時燃料として備蓄されています。